

# 貧酸素水塊速報 (2017年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター  
 ○ 神奈川県水産技術センター  
 千葉県農林水産技術会議  
 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 ○ 千葉県環境研究センター  
 第三管区海上保安本部  
 ○ 東京都環境局  
 (国)国立環境研究所  
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)  
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

## 平成29年10月2～3日観測結果

貧酸素水塊は内湾北部の水深8m以深の海域を中心に分布しています(図1)。縦断ラインでは、内湾北部中央からアクアライン北にかけての水深10～20mで、依然として強く貧酸素化した水塊が認められ、規模は前回より拡大しました(図2, 3)。

表層塩分は、先週の大雨の影響により、内湾の広範囲で低下しています。

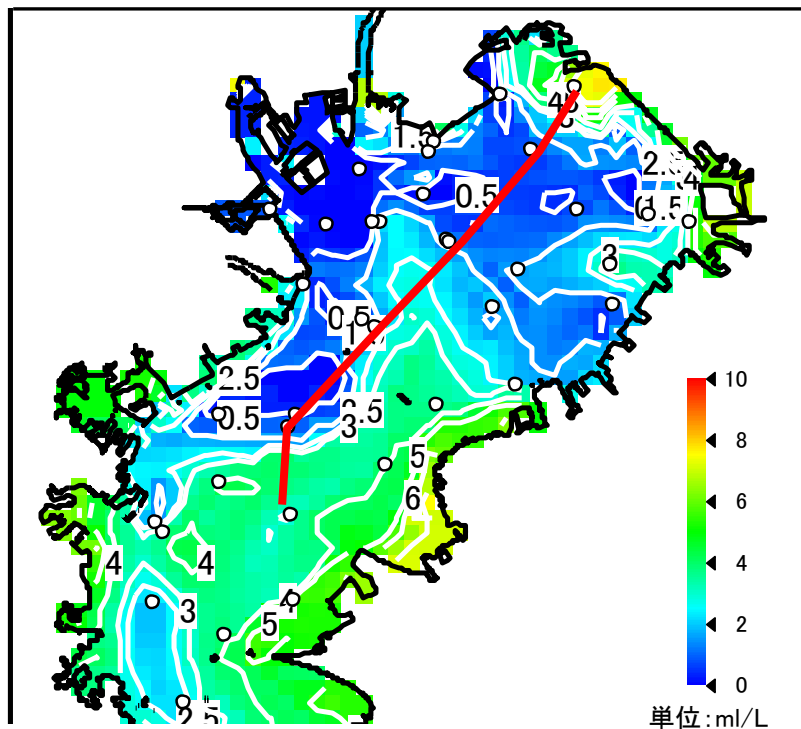


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

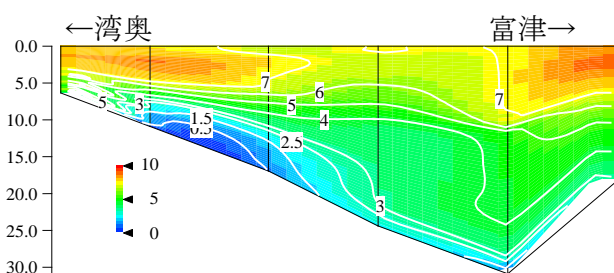


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

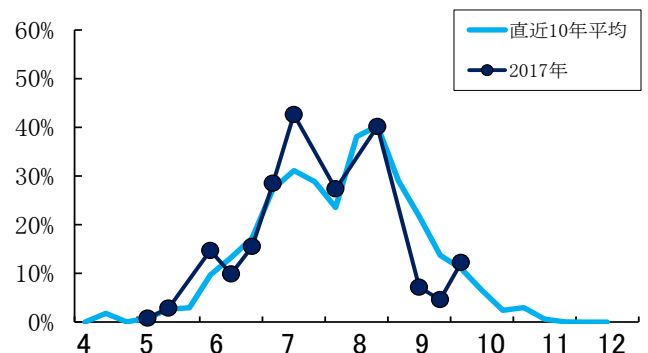


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)